

Bio Medical Forum 2019

第7回大阪府立大バイオ・メディカル・フォーラム
第9回大阪市立大「バイオインターフェース先端マテリアルの創生」シンポジウム

平成31年2月4日（月）10:00～19:00

場所：大阪府立大学学術交流会館

10:00～10:10 開会挨拶 辻 洋（大阪府立大学 学長）

近藤 裕郷（日本医療研究開発機構 AMED・BINDS プログラムオフィサー）

10:10～10:30

長崎 健（大阪市立大学大学院工学研究科長）

「市大工学研究科の医工・生命工学への新たな取組」

10:30～10:50

品田 哲郎（大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻）

「微生物が生産する天然物のケミカルバイオロジー」

10:50～11:10

佐伯 壮一（大阪市立大学大学院工学研究科機械物理系専攻）

「プラズマプロセス技術と多機能OCTを応用した再生医療等製品の品質向上と支援機器の開発」

11:10～11:30

善光 龍哉（日本医療研究開発機構AMED・創薬戦略部医薬品研究課・調査役）

「アカデミア創薬推進に向けた AMED の取り組みと BINDS 事業紹介」

11:30～14:10 昼食・ポスター発表

11:40～12:40 奇数番号

12:40～13:40 偶数番号

14:10～14:40

中川 晋作（大阪大学大学院薬学研究科薬剤学分野）

*アカデミア創薬における薬物動態・安全性評価基盤の構築(1)

「支援内容の紹介とエピトランスクリプトーム解析による安全性評価基盤の構築」

14:40～15:00

山手 丈至（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻）

*アカデミア創薬における薬物動態・安全性評価基盤の構築(2)

「M1/M2マクロファージ分極化に基づく新規肝毒性発現機序の解明と安全性評価基盤の構築」

*****15:00～15:15 コーヒーブレイク*****

15:15～15:30

藤井 郁雄（大阪府立大学21世紀科学研究センター・バイオ・メディカル・フォーラム所長）
「府大創薬の強み」

15:30～15:50

東 泰孝（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科獣医学専攻）
「各種炎症性疾患モデルを用いたインターロイキン-19の多面的調節機能」

15:50～16:10

石橋 幸（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻）
「ハウスダスト中の不快害虫チャタテムシが誘発するアレルギーの診断と治療戦略」

16:10～16:30

道上 雅孝（大阪府立大学大学院理学系研究科生物科学専攻）
*ポスト抗体医薬：進化分子工学による分子標的ペプチドの開発
「ペプチド-薬物複合体(PDC)を基盤とした新しい創薬モダリティ」

16:30-16:50

中瀬 生彦（大阪府立大学大学院理学系研究科生物科学専攻）
「細胞分泌小胞エクソソームを用いた薬物送達と細胞治療の基盤技術開発」

16:50～17:20

中村 春木（日本医療研究開発機構AMED・BINDSプログラムスーパーバイザー）
「AMED創薬等先端技術支援基盤プラットフォーム（BINDS）とデータ科学の進展」

17:20～17:30 閉会挨拶 石井 実（大阪府立大学 副学長）

17:30～19:00 意見交換会・ポスター発表授賞式

* AMED/創薬等先端技術支援基盤プラットフォーム BINDS 支援メニュー

連絡先（世話人）：藤井 郁雄/大阪府立大学大学院理学系研究科
TEL: 072-254-9834, e-mail: fujii@b.s.osakafu-u.ac.jp